

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		乳幼児ごみ袋配布事業				②事業番号		4421	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度	平成 20 年度	⑤終了予定年度	年度	○ 設定なし	
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	計画等	○ その他	法令等の名称：乳幼児のいる世帯の泉南市指定可燃ごみ袋にかかる取り扱い要領		
⑦実施手法	○ 直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他				
⑧関連予算科目コード		款	3	項	2	目	1	細目	4
⑨担当部名		⑩担当課名					会計 一般会計		
健康福祉部		生活福祉課							

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位
① 0歳、1歳の乳幼児		① 0歳、1歳の乳幼児の人数(3月末日現在)		人
②		②		
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位
乳幼児1人につき、可燃ごみ袋(200)を1ヶ月単位10枚を配布。 新生児については12ヶ月分で120枚、1歳に到達した月にさらに12ヶ月分120枚を配布。		① 配布数		枚
		②		
		③		
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
少子化対策の一環として、乳幼児のいる世帯に決められた枚数の泉南市指定可燃ごみ袋を配布する。		① ごみ袋給付費		千円
		計算式		
		②		
		計算式		
		③		
		計算式		
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け		
乳幼児のいる世帯の経済的負担の軽減に結びつく。		政策(章) 2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち		
		施策大(節) 1 子どもと大人が夢や希望を持ち、ともに成長できるまちをめざします		
		施策中 2 子育てしやすい環境の整備		
		施策小 6 子育て家庭への経済的支援		

【2】各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	0歳、1歳の乳幼児の人数(3月末日現在)	人	869	828	836	850	—	—
対象指標②								
活動指標①	配布数	枚	90,590	86,790	87,360	114,000	—	
活動指標②								
活動指標③								
成果指標①	ごみ袋給付費	千円	2,064	1,944	2,088	2,280	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.07	0.08	0.08	0.08		
	正職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	594	681	651	651		—
	直接事業費	千円	2,064	1,944	2,088	2,280		
	総事業費	千円	2,658	2,625	2,739	2,931		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	2,658	2,625	2,739	2,931		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	少子化対策と子育て家庭の負担の軽減を図るために実施。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	少子化が進み、また、めまぐるしく変化する経済情勢の中、子育てしやすい環境整備が必要となる。その一助として、経済的な負担を軽減する施策が必要である。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	ごみ袋を配布することで、乳幼児のいる世帯の経済的負担の軽減を図れるので、上位施策に貢献する。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	少子化が進む中、乳幼児のいる世帯へのごみ袋の配布は、子育て世代の経済的負担を軽減するものであり、子育て支援は市の施策に沿うものである。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	基本的に年間120枚を2年間にわたり配布している。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	経済的負担の軽減を図れず、子育てしやすい環境整備の推進という点からも影響は少なくない。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価 **A**

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	出生時には、必ず1年間分のごみ袋を配布している。1年後に再度配布するため、来庁してもらうよう伝えており、配布漏れはほぼなく、経済的支援が図られている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	要領に基づいて実施する事業であり、配布対象者が限定されるため、成果向上の余地はない。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	最小限度経費による事業であり、事務担当職員も現状のままなので、経費削減の余地はない。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	健やかに子どもを育てるための支援事業であり、受益者負担になじまない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	—	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

A	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—